



平成 20 年 3 月期 第 1 四半期財務・業績の概況

平成 19 年 8 月 3 日

上場会社名 ユニチカ株式会社

上場取引所（東証第一部、大証第一部）

コード番号：3103

(URL <http://www.unitika.co.jp>)

代 表 者 代表取締役社長 大西 音文
 問合せ先責任者 経 理 部 長 大槻 和夫

T E L : (06)6281-5721

(百万円未満切捨て)

1. 平成 20 年 3 月期第 1 四半期の連結業績（平成 19 年 4 月 1 日 ～ 平成 19 年 6 月 30 日）

(1) 連結経営成績

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売 上 高		営 業 利 益		経 常 利 益		四半期（当期）純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20 年 3 月期第 1 四半期	54,635	7.6	2,259	32.4	2,458	80.1	1,658	224.9
19 年 3 月期第 1 四半期	50,767	0.1	1,706	△52.3	1,364	△56.4	510	△59.4
19 年 3 月期	220,572	—	11,171	—	8,458	—	2,562	—

	1 株当たり四半期 （当期）純利益	潜在株式調整後 1 株当たり四半期 （当期）純利益
	円 銭	円 銭
20 年 3 月期第 1 四半期	3.49	—
19 年 3 月期第 1 四半期	1.07	—
19 年 3 月期	5.39	—

(2) 連結財政状態

	総 資 産	純 資 産	自己資本比率	1 株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
20 年 3 月期第 1 四半期	328,097	39,158	10.5	72.67
19 年 3 月期第 1 四半期	324,457	38,598	10.4	71.28
19 年 3 月期	328,382	39,959	10.8	74.24

2. 平成 20 年 3 月期の連結業績予想（平成 19 年 4 月 1 日 ～ 平成 20 年 3 月 31 日） 【参考】
前期決算発表時（平成 19 年 5 月 11 日）に公表いたしました当期業績予想の修正はありません。

3. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う
特定子会社の異動） : 無
(2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
(3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無

〔(注) 詳細は、4 ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。〕

* 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

本年度第 1 四半期（平成 19 年 4 月 1 日～平成 19 年 6 月 30 日）は、国内景気は底固く推移したものの、石化原燃料価格の更なる高騰などにより先行き不透明な状況が続きました。このような情勢の下、当社グループは収益改善に向けた諸施策に取り組みましたが、当第 1 四半期につきましては、売上高は 54,635 百万円、営業利益は 2,259 百万円、経常利益は 2,458 百万円、四半期純利益は 1,658 百万円となりました。

事業別の状況は次のとおりです。

【高分子事業】

フィルム事業では、全体の売上は堅調でしたが、ナイロンフィルムが原料価格の更なる上昇の影響を受け厳しい業況が続きました。樹脂事業では、引き続き自動車部材、電気・電子部品関連を中心に機能性樹脂の拡販が進み堅調に推移しました。不織布事業では、衛材用途の増加、輸出の伸長などにより概ね堅調に推移しました。

【環境・機能材事業】

環境事業では、公共事業の縮減、受注単価の低下など厳しい状況にありますが、前期において工事進捗が遅れていた受注案件の計上を含め売上は回復に向かいました。機能材事業では、ICクロスは在庫調整の影響を受けましたが、産業資材向けガラス繊維が不燃用途などで伸長するとともに、ガラスビーズが反射材向けを中心に堅調に推移しました。

【繊維事業】

合成繊維事業では、原燃料価格高騰の影響を受ける中、ナイロン繊維はやや低調でしたが、ポリエステル繊維の売上は堅調に推移しました。一方、天然繊維事業では、海外品の流入に歯止めがかからず、また原料価格上昇や為替影響もあり厳しい状況が続いておりますが、ユニフォーム分野において売上が増加しました。

【生活健康・その他事業】

生活健康事業では、メディカル分野が概ね計画通り推移しましたが、健康補助食品分野が伸び悩みました。その他事業では、不動産事業に係る収益が減少しました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第 1 四半期末の総資産は、前期末に比べ 284 百万円減少し、328,097 百万円となりました。主な増減は、売上債権及びたな卸資産の増加と投資その他の資産の減少であります。

少数株主持分を含む純資産は、四半期純利益による増加がありましたが、為替換算調整勘定等の減少により、前期末に比べ 800 百万円減少し、39,158 百万円となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

業績予想の修正はありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

引当金の一部において簡便的な方法を採用しています。

(3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更

該当事項はありません。

5. (要約) 四半期連結財務諸表
(要約) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	前期 (19. 3. 31現在)	当第1四半期 (19. 6. 30現在)	増減	前第1四半期 (18. 6. 30現在)
(資産の部)				
I 流動資産				
現金及び預金	16,501	15,841	△660	13,426
受取手形及び売掛金	49,734	51,880	2,145	46,712
たな卸資産	65,266	67,288	2,022	61,960
その他の流動資産	8,562	9,840	1,278	9,257
流動資産合計	140,065	144,850	4,785	131,356
II 固定資産				
有形固定資産	164,115	164,147	31	165,370
無形固定資産	1,651	1,635	△16	1,395
投資その他の資産	22,550	17,464	△5,086	26,335
固定資産合計	188,317	183,247	△5,070	193,100
資産合計	328,382	328,097	△284	324,457
(負債の部)				
I 流動負債				
支払手形及び買掛金	41,999	39,447	△2,551	32,954
短期有利子負債	106,760	106,432	△327	105,445
その他の流動負債	20,239	20,009	△229	20,480
流動負債合計	168,999	165,890	△3,108	158,880
II 固定負債				
長期有利子負債	90,198	94,678	4,479	94,523
退職給付引当金	3,926	3,280	△645	4,940
その他の固定負債	25,299	25,089	△209	27,515
固定負債合計	119,423	123,048	3,624	126,979
負債合計	288,423	288,939	516	285,859
(純資産の部)				
I 株主資本				
資本金	23,798	23,798	—	23,798
資本剰余金	1,661	1,661	—	1,661
利益剰余金	6,660	7,507	847	4,482
自己株式	△37	△38	△1	△31
株主資本合計	32,082	32,928	846	29,909
II 評価・換算差額等				
その他有価証券評価差額金	1,039	1,059	19	1,576
繰延ヘッジ損益	2	3	1	10
土地再評価差額金	3,444	3,281	△162	3,831
為替換算調整勘定	△1,258	△2,709	△1,451	△1,422
評価・換算差額等合計	3,227	1,634	△1,592	3,995
III 少数株主持分	4,649	4,594	△54	4,692
純資産合計	39,959	39,158	△800	38,598
負債純資産合計	328,382	328,097	△284	324,457

(要約) 四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	前第 1 四半期 (18. 4. 1～18. 6. 30)	当第 1 四半期 (19. 4. 1～19. 6. 30)	増減	前期 (18. 4. 1～19. 3. 31)
I 売上高	50,767	54,635	3,867	220,572
II 売上原価	41,130	44,660	3,530	178,211
売上総利益	9,637	9,974	337	42,360
III 販売費及び一般管理費	7,930	7,714	△216	31,189
営業利益	1,706	2,259	553	11,171
IV 営業外収益				
受取利息・配当金	160	162	1	399
持分法による投資利益	129	457	327	274
その他	941	1,251	309	3,074
営業外収益計	1,231	1,870	638	3,748
V 営業外費用				
支払利息	927	996	69	3,875
その他	646	675	28	2,585
営業外費用計	1,573	1,671	98	6,461
経常利益	1,364	2,458	1,093	8,458
VI 特別利益	9	1,249	1,239	41
VII 特別損失	287	475	188	5,129
税金等調整前 四半期(当期)純利益	1,087	3,232	2,144	3,369
税金費用	615	1,650	1,035	947
少数株主利益(△は損失)	△38	△77	△38	△140
四半期(当期)純利益	510	1,658	1,148	2,562

セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前第 1 四半期 (18. 4. 1～18. 6. 30)

(単位：百万円)

	高分子 事業	環境・ 機能材 事業	織 維 事 業	生活健康 ・その他 事業	計	消去又は 全社	連 結
売上高及び営業損益							
I. 売上高							
(1)外部顧客に対する売上高	16,107	5,274	23,384	6,000	50,767	—	50,767
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高 計	961	167	108	780	2,017	(2,017)	—
	17,068	5,441	23,493	6,781	52,784	(2,017)	50,767
II. 営業費用	15,582	5,818	23,484	5,700	50,585	(1,524)	49,060
営業利益 (△は損失)	1,486	△377	9	1,081	2,199	(492)	1,706

(注) 営業費用のうち、消去又は全社に含めた配賦不能営業費用は 511 百万円であります。

当第 1 四半期 (19. 4. 1～19. 6. 30)

(単位：百万円)

	高分子 事業	環境・ 機能材 事業	織 維 事 業	生活健康 ・その他 事業	計	消去又は 全社	連 結
売上高及び営業損益							
I. 売上高							
(1)外部顧客に対する売上高	16,931	6,574	25,086	6,041	54,635	—	54,635
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高 計	976	139	159	765	2,040	(2,040)	—
	17,908	6,713	25,246	6,807	56,675	(2,040)	54,635
II. 営業費用	16,062	6,424	25,182	6,150	53,820	(1,444)	52,375
営業利益	1,845	289	63	656	2,855	(595)	2,259

(注) 営業費用のうち、消去又は全社に含めた配賦不能営業費用は 586 百万円であります。

前期 (18. 4. 1～19. 3. 31)

(単位：百万円)

	高分子 事業	環境・ 機能材 事業	織 維 事 業	生活健康 ・その他 事業	計	消去又は 全社	連 結
売上高及び営業損益							
I. 売上高							
(1)外部顧客に対する売上高	66,198	28,947	103,236	22,190	220,572	—	220,572
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高 計	3,832	703	561	3,372	8,470	(8,470)	—
	70,031	29,650	103,798	25,562	229,042	(8,470)	220,572
II. 営業費用	62,390	27,374	101,685	23,391	214,842	(5,441)	209,400
営業利益	7,640	2,276	2,112	2,170	14,200	(3,028)	11,171

(注) 営業費用のうち、消去又は全社に含めた配賦不能営業費用は 3,088 百万円であります。